

## フェムトセカンドレーザーを利用した眼内レンズ摘出の有効性の検討

### 1. 研究の対象

白内障手術にて眼内レンズを移植された後、様々な理由（術後屈折度数のズレ、多焦点眼内レンズの不適合等）にて眼内レンズの交換が必要と認められた患者。

〈除外基準〉

移植された眼内レンズが水晶体嚢と強く癒着していると考えられる症例、角膜内皮細胞密度が 1000 cells/mm<sup>2</sup>以下の症例、およびぶどう膜炎、糖尿病網膜症等の眼疾患の既往がある症例は除外する。

### 2. 研究目的・方法

目的：不適合眼内レンズを摘出する際に眼内レンズを切断する目的にてフェムトセカンドレーザーの有効性を検討する。

方法：移植された眼内レンズの交換を必要とする患者に対して、その眼内レンズをフェムトセカンドレーザーにより切断することにより二分化して小切開創より摘出し、新たな眼内レンズを移植する。

研究の種類・デザイン： 介入を伴う前向き研究(前向き観察研究)

### 3. 目標症例数と研究期間

目標登録症例数 5 例

研究期間

登録期間；2019年4月～2020年3月

追跡期間；2年間

### 4. エンドポイント(評価項目)の定義

主要評価項目(Primary Endpoint)：視力、角膜内皮密度

副次的評価項目(Secondary Endpoint)：合併症の有無